

第 109 回 学長定例記者会見

日時：令和元年5月24日（金）10：30～11：00

場所：広島大学 東広島キャンパス 法人本部棟 5 階 5F2 会議室

※テレビ会議システムにより、記者会見の様子を同時配信

受信場所：東千田キャンパス 総合校舎 1 階 会議室

※YouTube による録画配信を実施

○ 10：20～

広島大学の改革と新しい教員人事制度を解説した動画の上映

【発表事項】

1. 2020 年 4 月、先駆的な教員人事制度を導入
— 採用から 5～7 年後までに昇任も可能 —
2. 「広島大学国際戦略 2022」の策定について
3. 広島大学の次世代を育成するための 2 つのプログラムが、科学技術振興機構の平成 31 年度次世代育成人材事業に採択されました

【お知らせ】

1. 広島大学デジタルものづくり教育研究センター開所記念講演会を
6 月 6 日に開催します
2. 「2019 ゆかたまつり」を開催
「涼風薫る夏の始まり」
3. 第 40 回広島大学音楽祭フェニックスコンサートを開催します
4. 大学院統合生命科学研究科 水沼准教授に大隅基礎科学創成財団の
酵母コンソーシアムフェローの称号が授与されました

■次回の学長定例記者会見（予定）

日時： 令和元年6月下旬

場所： 広島大学 霞キャンパス

令和元年 5 月 24 日

**2020 年 4 月、先駆的な教員人事制度を導入
- 採用から 5~7 年後までに昇任も可能 -**

2020 年 4 月、広島大学の教員人事制度が変わります。2019 年 4 月以降からは、新しい制度で教員を公募します。

若手層の職、具体的には「准教授」「講師」「助教」で採用される教員に原則テニユアトラック制を適用します。5~7 年後にテニユア審査を行い、審査に合格すれば、上位職へのポストアップも可能な新たな制度です。また、採用基準、テニユア審査基準には、学問分野の特性を反映した公正な新基準を用います。

日本の大学では、2~3 年の任期付きポストを転々としている研究者が数多く存在するため、研究者が腰を据えて中長期的な研究ができる場や公正な人事による平等な機会を提供することが必要です。

広島大学の新しい教員人事制度がフロンティアとなり、日本の研究者、特に若手研究者を取り巻く環境が変わることを期待しています。

< 広島大学の改革と新しい教員人事制度を解説した動画 >

● 日本語版

https://youtu.be/FsEo7dP5q_A

● 英語版

https://youtu.be/v6LG_b9HDSA

< 用語解説 >

● テニユアトラック制度

大学が教員を 5~7 年程度の期間雇用し、大学内の研究環境で経験を積ませた後、採用時に提示したテニユア審査基準により教育業績や研究業績（論文数や質）などを審査し、適格であればテニユアを付与する制度です。

● テニユア

一定の条件を満たした教職員に与えられる終身在職権です。

【お問い合わせ先】

財務・総務室

人事部人事グループ（教員等人事担当）小林

TEL:082-424-6038

FAX:082-424-6030

広島大学が導入する新しい教員人事制度の概要

1. 広島大学版テニュアトラック制度について

- 「准教授」「講師」「助教」で採用される教員には、原則としてテニュアトラック制を適用します。5～7年後までにテニュア最終審査を行い、審査に合格すれば、上位職へのポストアップも可能な新たな制度です。その他、自己推薦による昇任機会も提供します。
- 採用時の審査においては、これまでの教育研究業績に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。また、テニュア審査では、その到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

2. 審査基準について

- 採用時及びテニュア審査時の審査基準は、学問分野に応じてバリエーションが異なり、「教授」「准教授」「講師」「助教」の職階ごとに、広島大学の教員として満たしていただきたい最低基準を設定しています。職階・学問分野の特性を適切に反映し、研究業績の質と量を表す公正な基準を用います。

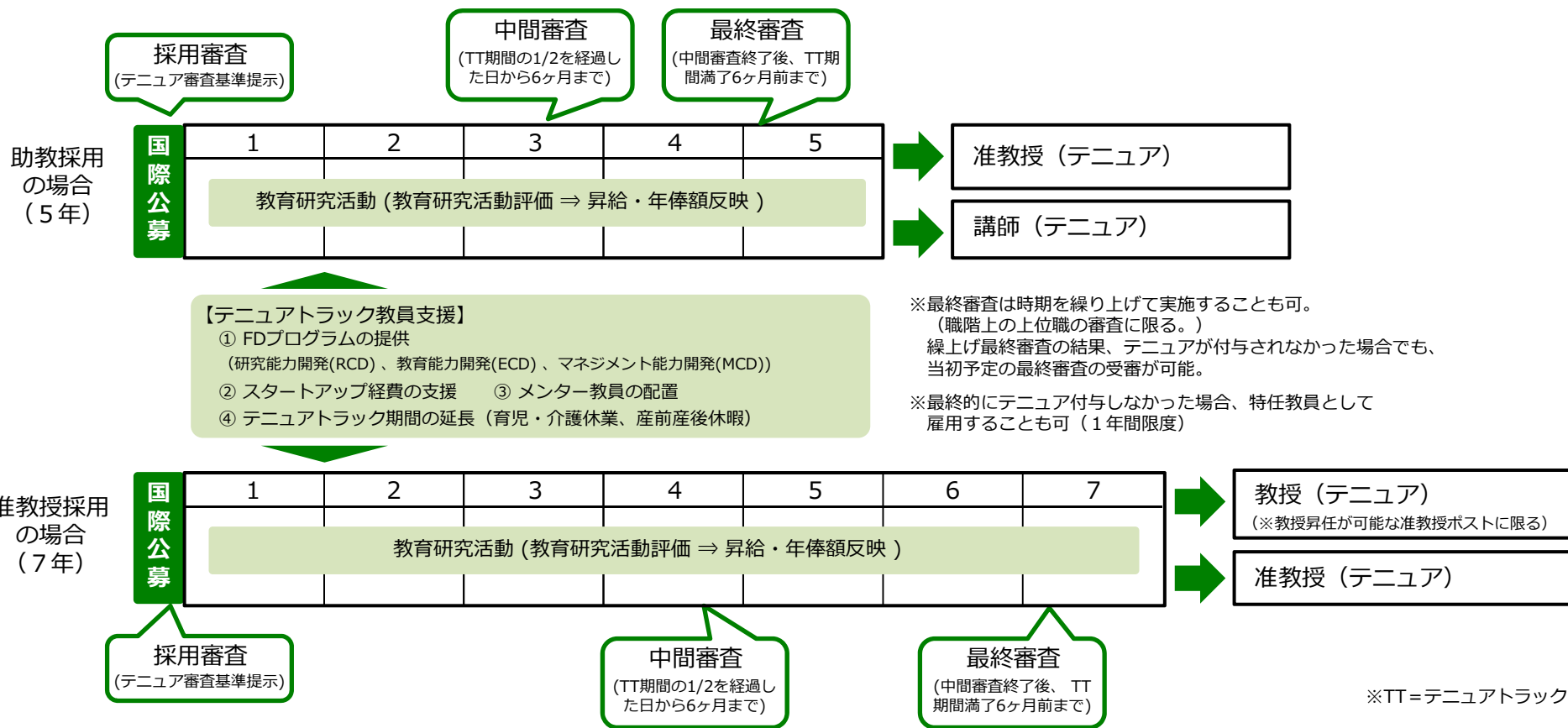
3. テニュアトラック教員が安心して活躍できる支援体制について

- 採用されたテニュアトラック教員に対して、スタートアップ経費の支援や、メンター教員の配置など、教員が自立して研究活動を行うことのできる支援環境を整備しています。
- テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じてテニュアトラック期間を一定期間延長することができます。
- テニュアが付与されなかった場合でも、本人が希望する場合は、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として継続雇用します。

(※メンター制度とは)

新任教員が研究生活において抱える研究上の課題や将来のキャリア形成、その他諸問題に関し、その自発的な解決に向けて、先輩教員(メンター)の助言を受けられることができる制度です。

テニュアトラック教員のキャリアパス (例)





令和元年 5 月 24 日

「広島大学国際戦略 2022」の策定について

広島大学は、「自由で平和な一つの大学」という建学の精神に則り、平和を希求する大学として、教育・研究・医療・社会貢献の各分野においてその使命と役割を果たしてきました。

日本の大学の更なる国際化が求められるなか、広島大学はヒロシマに位置する研究大学として、すなわち、世界の HIROSHIMA UNIVERSITY としてその使命と役割を積極的に果たします。

越智光夫学長は、2015 年の第 12 代学長就任以来、「平和を希求しチャレンジする国際的教養人の育成」及び「100 年後にも世界で光り輝く大学」を目標として掲げてまいりました。これを実現するために、2017 年 4 月、長期ビジョン SPLENDOR (Sustainable Peace Leader Enhancement by Nurturing Development of Research) PLAN 2017 を策定しました。このたび、第 2 期目の学長再任（2019-2022）にあたり、本長期ビジョンを確実に遂行するため、「広島大学国際戦略 2022」を新たに定めたところです。

「広島大学国際戦略 2022」では、SPLENDOR PLAN 2017 で提示するミッションを実現するために、①平和研究・平和教育の推進と②持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）達成への貢献を二つの柱として掲げています。

とりわけ、本学の強みを活かし SDG4「教育」及び SDG16「平和」の達成に力点を置くとともに、自ら教育機関として本学で学ぶ者も働く者も成長を実感できる大学であることを国際化の指針としています。

【お問い合わせ先】

国際室

国際部国際交流グループ 中家 さおり

TEL:082-424-6046 FAX:082-424-6179

広島大学国際戦略 2022

前言

広島大学は、「自由で平和な一つの大学」という建学の精神に則り、平和を希求する大学として、教育・研究・医療・社会貢献の各分野においてその使命と役割を果たしてきた。日本の大学の更なる国際化が求められるなか、広島大学はヒロシマに位置する研究大学として、すなわち、世界の HIROSHIMA UNIVERSITY としてその使命と役割を積極的に果たす。2015年に第12代学長に就任した越智光夫学長は「平和を希求しチャレンジする国際的教養人の育成」及び「100年後にも世界で光り輝く大学」を目標として掲げ、これを実現するために長期ビジョン SPLENDOR (Sustainable Peace Leader Enhancement by Nurturing Development of Research) PLAN 2017 を策定した。越智学長第2期(2019-2022)において本長期ビジョンを確実に遂行するため、国際戦略 2022 を新たに定める。

基本方針

SPLENDOR PLAN 2017 は、「持続可能な発展を導く科学」を新しい平和科学の理念として掲げ、この「平和科学」の確立と多様性をはぐくむ自由で平和な国際社会の実現を新たなミッションとして提示した。広島大学はこのミッションを実現するために、①平和研究・平和教育の推進と②持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals;SDGs) 達成への貢献を二つの柱として国際戦略を定める。とりわけ、旧制広島高等師範学校を設立母体の一つとする広島大学は「教育の広島」の伝統をもつ。本学の強みを活かし SDG4「教育」及び SDG16「平和」の達成に力点を置くとともに、自ら教育機関として本学で学ぶ者も働く者も成長を実感できる大学であることを国際化の指針とする。

本戦略では、2016年に策定した「広島大学国際戦略 2016」を踏まえ、「教育」「研究」「国際貢献・社会貢献」「ブランディング／国際化への基盤整備」を基本構成とした。更に、各戦略に対し、別途、具体的な方策を提案するとともに、資源の有効な配分の観点から地域戦略の提言を定める。

I 教育

(1) グローバル人財を育成する一貫教育の確立

広島大学は、入学から卒業までの教育課程全体を通して段階的にグローバル人財を育成する一貫教育を提供する。このグローバル人財一貫教育は、異文化交流→海外体験→専門教育→個人研究→海外就労経験まで明確なカリキュラム・マッピングを提示し、本学に在籍する学生全員の様々なニーズに応える人財育成である。この一貫教育を確立するために既存の様々な制度、教育プログラム等を十分に活用する。とりわけ、次のように派遣・受入れ事業の環境をより充実させ、社会の様々なニーズに応えられるグローバル・コンピテンシーを兼ね備えた日本人学生及び留学生を養成する。

① 学生の海外派遣留学の充実

グローバル人財一貫教育を充実するために、派遣留学事業を積極的に拡大する。また、学生のグローバル・コンピテンシーを向上させ、国際的に活躍する卒業・修了生を増やす。

② 留学生受入れの充実

短期受入れ留学生に全学の様々な交流プログラム、日本語・日本文化コース、英語及びその他の外国語による専門教育を通して、質保証を伴った教育・研究の機会を提供する。

(2) カリキュラムの国際標準化

日本人学生と留学生が共同で学習できる「Internationalization at Home」の環境を整え、本学の教育カリキュラムの細部に渡り、日本を深く理解し国際的な視点から学ぶことができる教育を提供する。

(3) 留学生のための日本語・日本文化教育の充実

個々の日本語学習者及び海外の日本語教員のニーズやレベルに対応したICT活用による日本語・日本文化教育を提供し、広島大学の多様な日本語・日本文化教育の実践及び近隣の教育機関との連携活動を、中四国地域の日本語教育の拠点形成に繋げる。さらに、海外拠点を地球規模の学習キャンパスと捉え、世界の舞台で活躍するグローバル人財の育成と中四国地域の日本語・日本文化教育の拠点化を目指す。

(4) 平和を希求する国際的教養人の育成

教育課程において「平和科目」を充実し、広島大学で学ぶすべての学生に対して平和とは何かを考え議論する機会を提供する。これにより、平和を希求する国際的教養人、すなわち、平和を希求し、他者を理解し、知識と行動力を持つ、国際社会に羽ばたく人財の育成を目指す。

(5) SDGsの達成を目指す人財育成

持続可能な開発目標（SDGs）は、人類と地球が直面する今日的、将来的な喫緊の課題を普遍的、かつ自らの課題として受け止め、必要な変革を伴いつつ、ともに考え、行動することを私たちに求めている。広島大学は、学生一人ひとりがSDGsを達成するために、主体的に考え、行動する力を身につけ、世界の、地域のあらゆる場面で活躍できるようになることを目指して、様々な学習機会を提供する。これらにより、多分野学問間の連携と融合によるインターディシプリナリーな教育プログラムを確立し、大学としての取組をより制度的なものとする。

II 研究

(1) 研究力の強化

国際共同研究の推進による研究力強化及び質の向上、レピュテーション向上を目指して、国際的研究ネットワーク構築とその組織的な活用、大型外部資金獲得、外国人等教員の積極的雇用、及び国際的研究活動強化のための学内基盤整備を行う。これにより、既存の取り組みの有効性を高めつつ、新たな挑戦を続け、組織的に持続可能な国際競争力を持つ研究機関となる。

(2) 平和研究の拠点形成

平和研究の拠点として、関連他機関とともに「オールヒロシマ」で平和研究並びに平和教育の場を創出し、平和に関する国際発信・社会貢献の拠点を担う。

(3) SDGsの達成を促進する研究支援

本学長期ビジョン SPLENDOR PLAN 2017 が目指す「持続可能な発展を導く科学」を実現すべく、これを支える基礎研究と応用、先端研究の高度化を推進するとともに、学内の個々の取組がどのようにSDGs達成に貢献する

かを示しつつ、全体としての相乗効果を高める取組を行う。教育及び国際貢献と合わせて、広島大学の SDGs 達成に向けた貢献を体系的に制度化し、本学独自の研究活動を活発化させ、その成果を内外に向けて強く発信する。

III 社会貢献・国際貢献

(1) 国際産学連携

国際的視野から産学連携強化を図り、本学の国際的なプレゼンスを高めることを目指して、国内外ネットワークの拡大と強化、国際共同研究の推進、及び人材交流を通じたアントレプレナー教育の充実と国際展開に取り組む。これにより、国際的産学連携の強化が図られ、世界的視野を持った国際競争力のある人材の育成・活用、国際的研究者ネットワークの構築が確立され、国際的な研究成果の発信につながる。

(2) 国際機関・海外政府機関との連携強化

本学が行う教育、研究、国際貢献の全般において、広島大学の強みを活かしつつ、互いを高め合うパートナーとしての協働を通して共通の課題に対応するため、国際機関や海外政府機関と積極的に連携する。これにより、教育、研究、国際貢献を実施する場と機会を拡充させ、広島大学の国際的なプレゼンスを向上させる。

(3) 「平和科学」の世界発信

これまで、被爆地「ヒロシマ」に開学し、「自由で平和な一つの大学」を建学の精神として掲げる本学の使命として、戦争、原爆、貧困、飢餓、人口増加、環境など多様な観点から「平和を考える場」を提供してきた。今後は、従来の実績を生かし、SDGs の取組と連携し、広島大学発の「平和科学」を世界に向けて発信する。これにより、「平和」の大学、広島大学のプレゼンスを国内外に強く発信する。

(4) SDGs の達成に向けた貢献

本学構成員（教職員及び学生）がさまざまな機会を通じて SDGs 関連の活動に積極的に参画することを大学として推奨し、その活動成果を、教育・研究に還元する。これにより、広島大学による SDGs 達成に向けた貢献の相乗効果を高め、体系的に制度化させる。

(5) 特色ある先端医科学・高度先進医療の展開

広島大学病院が果たしてきた、地域の各拠点病院との連携を図る中心的医療機関としての機能を活かし、原爆の惨禍からの復興を支えてきた大学として、放射線災害医療に関する国際拠点を形成し、本学が世界にアピールする特色ある先端医科学・高度先進医療を展開する。また、国際交流協定校との連携を深め、国際的に活躍できる若手医師や医療人の育成を行いつつ、広島大学の特徴を活かしたアジアのメディカルセンターとしての役割を担う施設として整備・発展させる。

IV ブランディング/国際化への基盤整備

(1) 国際コンソーシアムの拡充

国内外のコンソーシアムの構築・活用に積極的に取り組み、様々な教育・研究活動の連携を図り、国内外の連携大学と共同で国際教育を発展させ、共同研究の展開力を向上させる。

(2) 海外拠点・海外校友会の強化・活用

海外拠点・海外校友会と連携することによって、価値観が一層多様化した社会への国際貢献、質の高い留学生の獲得、地域社会、及び国際社会に貢献できる人財育成を促進させる。国際社会において本学の存在感を一層向上させるとともに、本学の国際競争力を強化する。

(3) 広報の充実

広報の手段と内容を充実させ、求められる情報を的確に伝えるとともに、本学への留学や共同研究への関心及び本学のレピュテーションを高める。

(4) 国際水準の評価システムの構築

広島大学は、国際的信頼を向上させるため、世界に存在する様々な国際的評価ツール、認証評価基準等を整理し、世界的に信頼される「広島大学」ブランドを確立する。

(5) すべての構成員にとって学びの場となるグローバル・バリアフリー・キャンパスの実現

留学生や外国人研究員・職員が言語・生活習慣の違いや障がいの有無にか

かわらず、不都合なくキャンパスで生活が送れるように条件を整備する。広島大学のすべての構成員が自らの成長を実感できる体制を整える。これにより、多様性をはぐくむ自由で平和なキャンパスを実現する。

令和元年5月24日

広島大学の次世代を育成するための2つのプログラムが、科学技術振興機構の平成31年度次世代育成人材事業に採択されました

広島大学の次世代を育成するための2つのプログラムが、科学技術振興機構の平成31年度次世代育成人材事業に採択されました。

1つ目は、「次世代育成人材事業平成31年度『ジュニアドクター育成塾』」に本学の取組「広島ものづくり革新的イノベーション未来科学者リーダー育成プログラム」が採択されました。

ジュニアドクター育成塾は、将来の科学技術イノベーションを牽引する傑出した人材の育成に向けて、高い意欲や突出した能力を持つ小中学生を発掘し、理数・情報分野の学習などを通じてその能力を伸長させる体系的な取り組みを支援するものです。

「広島ものづくり革新的イノベーション未来科学者リーダー育成プログラム」では、ものづくりを通して児童・生徒がもつ理数・情報分野に対する興味・関心を飛躍させ、将来、人・社会の諸課題に果敢に挑戦し、21世紀に必要な人材、我が国のこれまでの科学技術の繁栄を継続させながら、その礎のもとに持続可能な社会を発展させていくことが出来るような革新的イノベーションを起こす傑出したリーダー人材、および革新的イノベーションを起こす人を支える傑出した人材を育成することを目的とし、広島県内の教育委員会、学術施設や企業とも協働し実施します。

本企画は、グループ活動に基づくイノベティブなものづくりができる革新的なイノベーションマインドを持った人材を育成することが特徴です。

今後、7月にかけて、60名程度（12グループ）の参加者を募集し、研究者倫理、情報検索セミナーなどのプレ教育プログラムを実施します。

その後は、1次選抜を経たファーストステージ（約40名、8グループ）、さらに、2次選抜を経たセカンドステージ（約20名、4グループ）において、各ステージの目標達成に向けた教育を実施していきます。

2つ目は、「次世代育成人材事業平成31年度『グローバルサイエンスキャンパス』」に本学の取組「持続可能な発展を導く科学技術人材育成コンソーシアム GSC 広島～世界を舞台とした教育プログラムと地域の産学官連携による人材育成～」が採択されました。

グローバルサイエンスキャンパスは、将来グローバルに活躍し得る次世代の傑出した科学技術人材を育成することを目的とした事業で、地域で卓越した意欲・能力を持つ高校生などを募集・選抜し、国際的な活動を含む高度で体系的な理数教育プログラムを開発・実施する大学の企画を支援するものです。

「持続可能な発展を導く科学技術人材育成コンソーシアム GSC 広島」では、「世界を舞台とした教育プログラム」と「地域の産学官連携による教育プログラム」により、①グローバル社会が抱える課題や将来の課題に、能力を最大限発揮して挑戦し続ける生徒、②研究分野に関する高い研究能力と専門技術を有する生徒、③関連分野の理解力と、それらを融合・連携させる応用力、実践力、新たな課題発見能力を有する生徒、④多様な価値観を持つ他者への発信力、英語の意思疎通能力を基盤に研究内容の議論ができる生徒を育成します。

本企画は、平成27年度採択（実施期間：平成27年度～30年度）の本事業をさらに発展させたものです。

本年度の受講者募集では、約300人の応募があり、応募者に対して、ホップステージにおける教育（科学リテラシー講座、研究倫理講座、科学講座）を5月26日に実施します。

その後は、1次選抜を経たステップステージ（50～60名）さらに、2次選抜を経たジャンプステージ（15名）において、各ステージの目標達成に向けた教育を実施していきます。

【お問い合わせ先】

- 「広島ものづくり革新的イノベーション未来科学者リーダー育成プログラム」に関すること

大学院教育学研究科

准教授 川田 和男

Tel：082-424-7158

E-mail：kawada@hiroshima-u.ac.jp

- 「持続可能な発展を導く科学技術人材育成コンソーシアム GSC 広島～世界を舞台とした教育プログラムと地域の産学官連携による人材育成～」に関すること

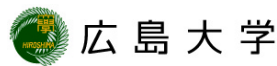
大学院統合生命科学研究科

准教授 西堀 正英

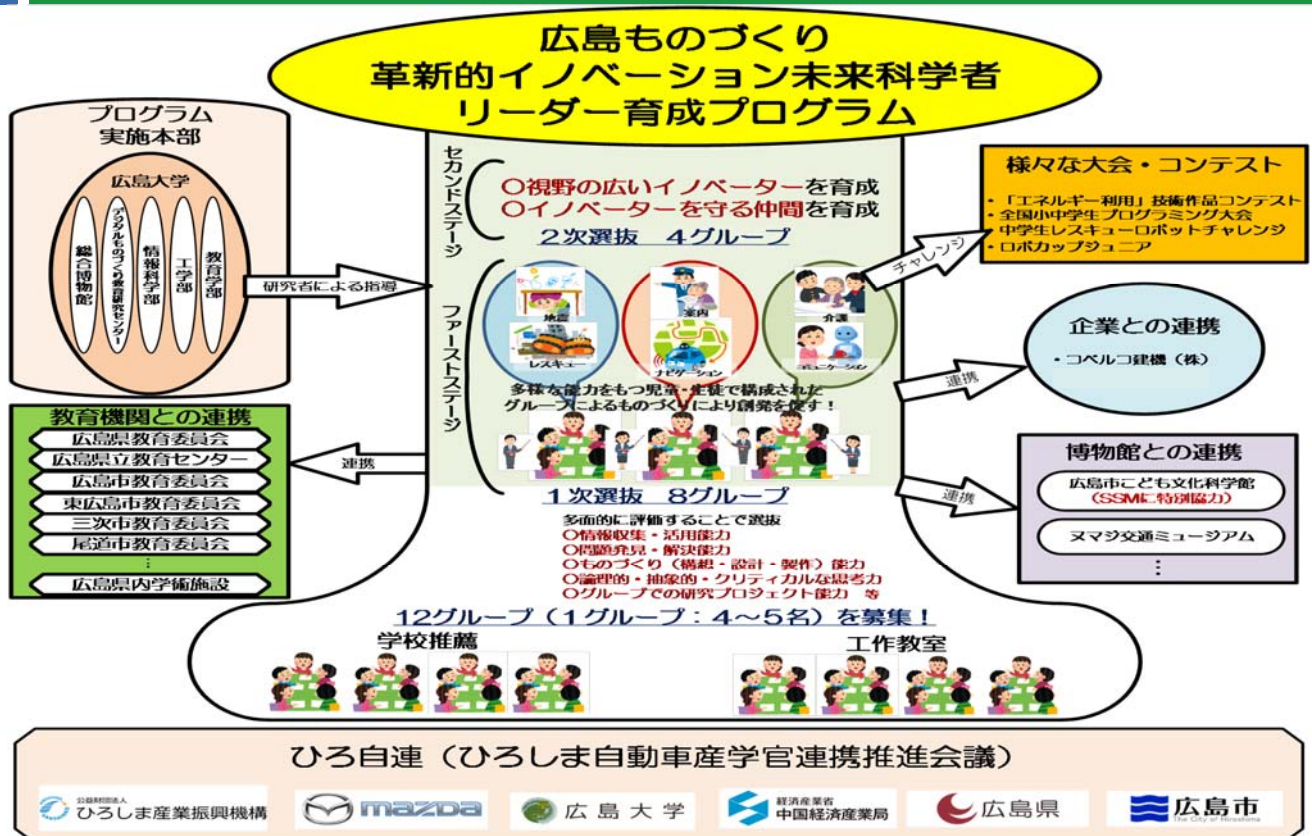
Tel：082-424-7992

E-mail：nishibo@hiroshima-u.ac.jp

ジュニアドクター育成塾 広島ものづくり革新的イノベーション 未来科学者リーダー育成プログラム



全体概要図



企画の目的・目標

問題意識

現代社会における課題の**複雑化・高度化**
 →少数の傑出した人材に依存する解決手法のみでは
 センズフルな解決策の提示が困難

グループ活動による研究プロジェクトを縦横にまとめ、
 遂行できる人材の育成が必要

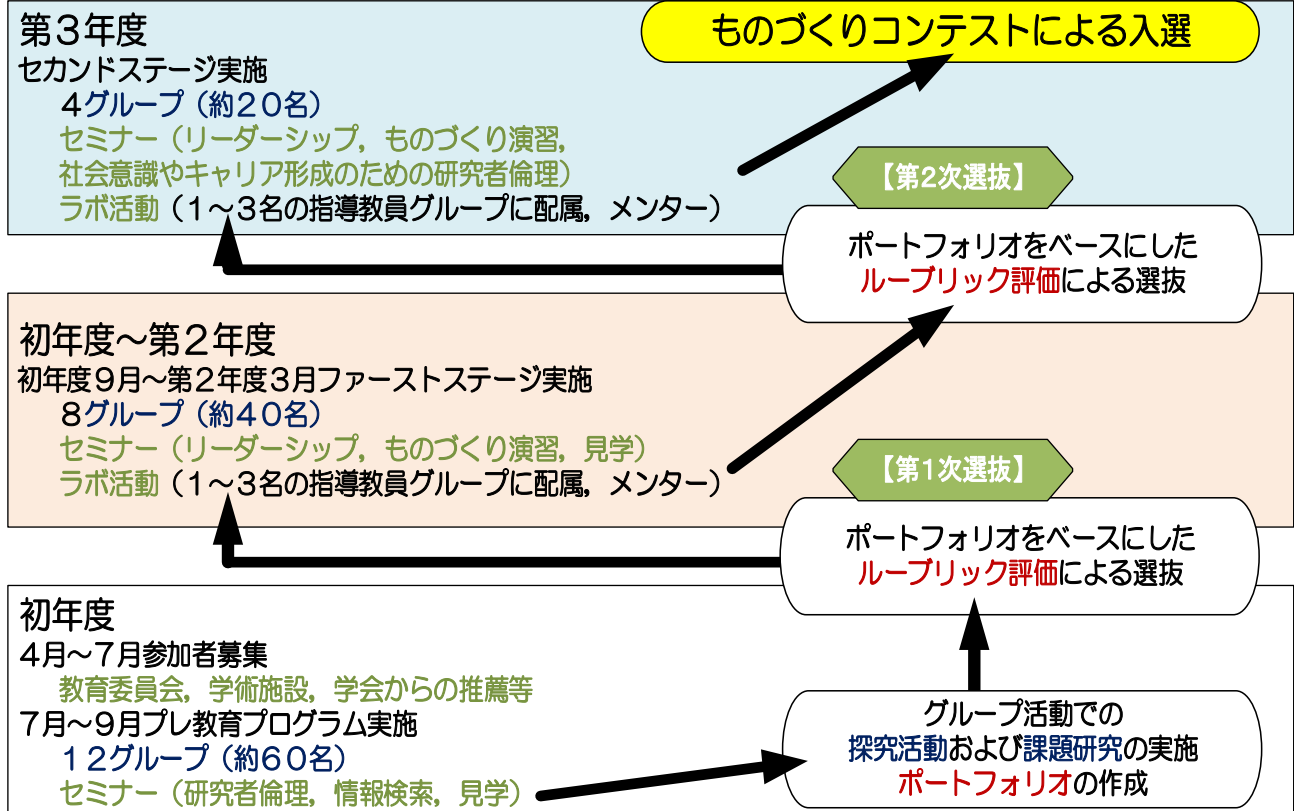
目的・目標

グループ活動に基づくイノベティブなものづくりができる
革新的なイノベーションマインドを持った若者を育み、社会
 に送り出す。

革新的なイノベーションを起こす

- 傑出したリーダー人材（視野の広いイノベーター）
- 革新的イノベーションを起こす人を支える傑出した
人材（イノベーターを守る仲間）
 を輩出する

受講生の育成計画



持続可能な発展を導く科学技術人材育成 コンソーシアムGSC広島

～世界を舞台とした教育プログラムと
地域の産学官連携による人材育成～

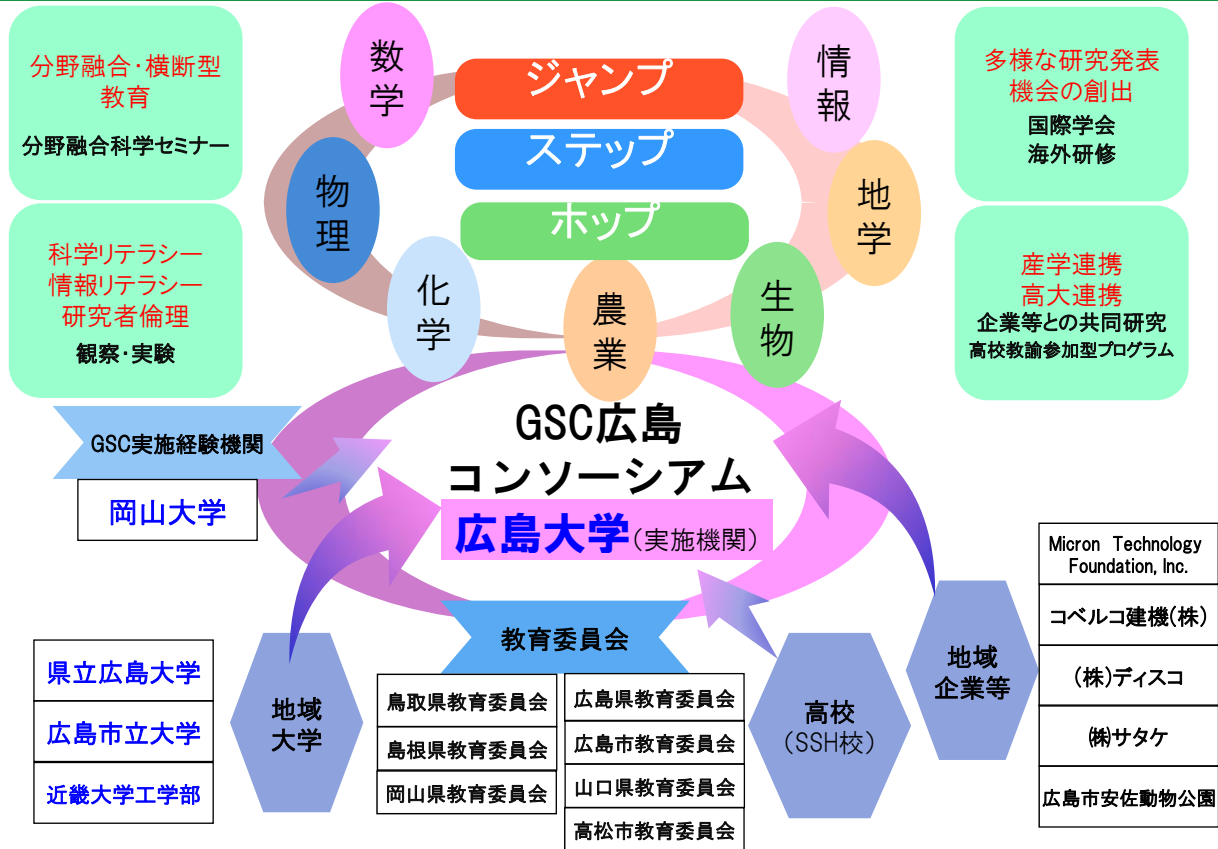


●GSC広島の最終目標

「**持続可能な発展を導く科学技術人材**」の育成
「**世界**を舞台とした教育プログラム」と
「**地域**の産学官連携による教育プログラム」

- ① グローバル社会が抱える課題や将来の課題に、能力を最大限発揮して挑戦し続ける生徒。
- ② 研究分野に関する高い研究能力と専門技術を有する生徒。
- ③ 関連分野の理解力と、それらを融合・連携させる応用力、実践力、新たな課題発見能力を有する生徒。
- ④ 多様な価値観を持つ他者への発信力、英語の意思疎通能力を基盤に研究内容の議論ができる生徒を育成。

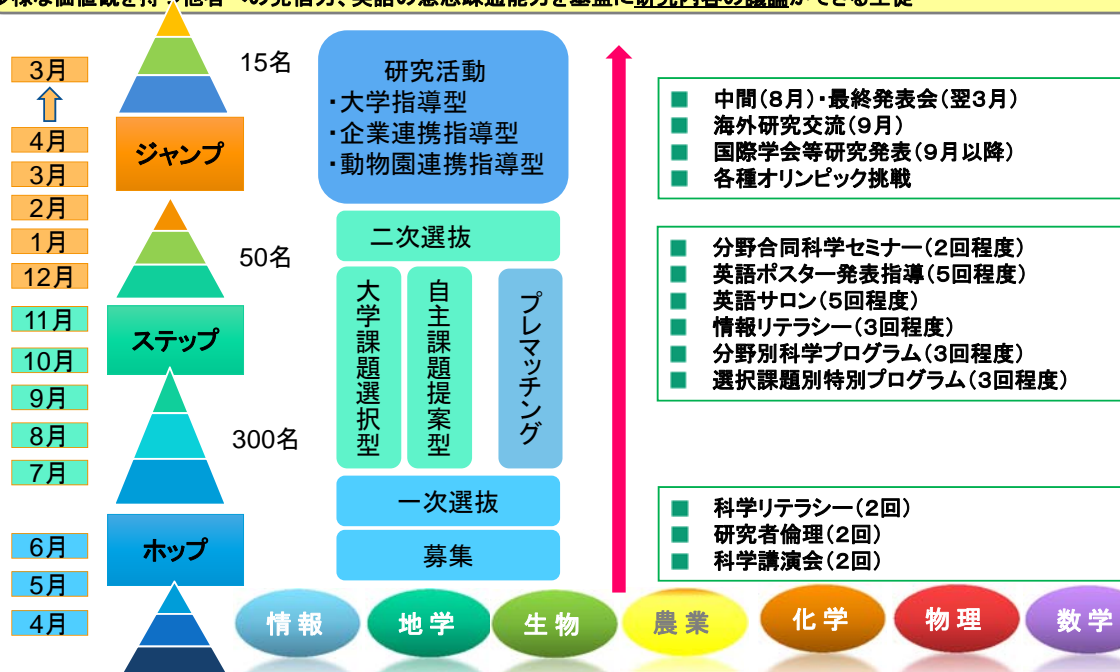
● 企画の全体像



● 教育プログラムの全体像

持続可能な発展を導く科学技術人材

- ・グローバル社会が抱える課題や将来の課題に、能力を最大限発揮して挑戦し続ける生徒
- ・研究分野に関する高い研究能力と専門技術を有する生徒
- ・関連分野の理解力と、それらを融合・連携させる応用力、実践力、新たな課題発見能力を有する生徒
- ・多様な価値観を持つ他者への発信力、英語の意思疎通能力を基盤に研究内容の議論ができる生徒



科学好きで将来科学を通じて持続可能な社会の構築に貢献したい生徒

※持続可能な社会:地球環境や自然環境が適切に保存され、人類の活動が将来にわたって発展させながら継続していける社会

令和元年 5 月 24 日

広島大学デジタルものづくり教育研究センター
開所記念講演会を 6 月 6 日に開催します

広島大学デジタルものづくり教育研究センターでは、開所記念講演会を下記のとおり開催します。

なお、本センターの活動を広く知っていただくことを目的として、講演のほか、材料モデルベースリサーチ、データ駆動型スマートシステム、スマート検査・モニタリングの 3 つのプロジェクトの概要を紹介します。

また、講演会の後に、会場では、各プロジェクトの技術紹介も兼ねた、デモンストレーション、意見交換も予定しています。

記

日時：令和元年 6 月 6 日（木）

13：15～13：35 主催者挨拶

越智光夫 広島大学長

湯崎英彦 広島県知事

13：35～14：25 講演

「マツダのモデルベース開発（MBD）の取組み経緯」

小飼雅道 マツダ株式会社 代表取締役会長

「既成概念にとらわれないデジタルものづくり」

中條善樹 デジタルものづくり教育研究センター長

14：25～14：35 （休憩）

14：35～15：50 プロジェクト概要説明

16：00～17：00 技術デモンストレーション、意見交換

場所：リーガロイヤルホテル広島 ロイヤルホール

対象：共創コンソーシアム参加予定企業、連携企業、事業関連機関 等

※取材の時間は、別途お知らせいたします。

【お問い合わせ先】

デジタルものづくり教育研究センター



TEL:082-430-8513 FAX:082-430-8516

E-mail: hudmerc@hiroshima-u.ac.jp

広島大学デジタルものづくり教育研究センター

開所記念講演会

日時 2019年6月6日(木) 13:15~17:00

主催  広島大学  広島県

会場 リーガロイヤルホテル広島 4階 ロイヤルホール(広島市中区基町6-78)

参加費無料

13:15~13:35 主催者挨拶 広島大学学長 越智 光夫
広島県知事 湯崎 英彦

13:35~13:55 講演『マツダのモデルベース開発 (MBD) の取組み経緯』
マツダ株式会社 代表取締役会長 小飼 雅道

略歴 1977年 東北大学工学部卒業
1977年 マツダ株式会社入社
その後、執行役員防府工場長、常務執行役員、専務執行役員、代表取締役社長兼CEOを務める。
現在 代表取締役会長 ひろしまデジタルイノベーション創出プログラム事業責任者

13:55~14:25 講演『既成概念にとらわれないデジタルものづくり』
デジタルものづくり教育研究センター センター長 中條 善樹

略歴 1980年 京都大学 大学院工学研究科博士課程修了、工学博士
1995年 京都大学 工学研究科教授
日本化学会筆頭副会長、近畿化学協会会長、高分子学会会長、等を歴任
高分子学会賞、日本化学会学術賞、日本化学会賞、紫綬褒章、高分子科学功績賞、等を受賞
現在 京都大学名誉教授・立命館大学客員教授・同志社大学嘱託教授・
広島大学特任教授 デジタルものづくり教育研究センター・センター長

~~ (休憩) 14:25~14:35 ~~

14:35~15:50 プロジェクトの概要説明

材料モデルベースリサーチ

大下 浄治 教授

環境と人に優しい多機能新材料の研究開発をモデルベースで推進し、自動車等へ実装するための研究開発を行います。

データ駆動型スマートシステム

山本 透 教授

モデルベース開発 (MBD) アプローチとデータ駆動型アプローチのインタープレイによる新しい開発プラットフォームを構築すると共に、産学連携を通してその実装に向けた活動を行います。

スマート検査・モニタリング

石井 抱 教授

生産プロセス等での異常検知・診断に向けた、高速ビジョンによる検査/モニタリング方法及びシステムを開発し、実装に向けた活動を行います。

15:50~15:55 閉会挨拶 広島大学理事・副学長 河原 能久

16:00~17:00 プロジェクトの技術デモンストレーション、意見交換

注目!

材料モデルベースリサーチ：音体験装置・熱体験装置
データ駆動型スマートシステム：データベース駆動型制御実験、HILシミュレータ、MBD教材
スマート検査・モニタリング：振動カメラ

広島大学デジタルものづくり教育研究センター開所記念講演会 参加申込書

～ 電子メールまたはFAXにより、期限までにお申込みください。 ～

申込期限	2019年5月31日（金）
F A X	下枠内に必要事項をご記入の上、082-430-8516まで送信してください。
Eメール	下枠内に必要事項をご記入の上、 メールアドレス：hudmerc@hiroshima-u.ac.jp まで送信してください。

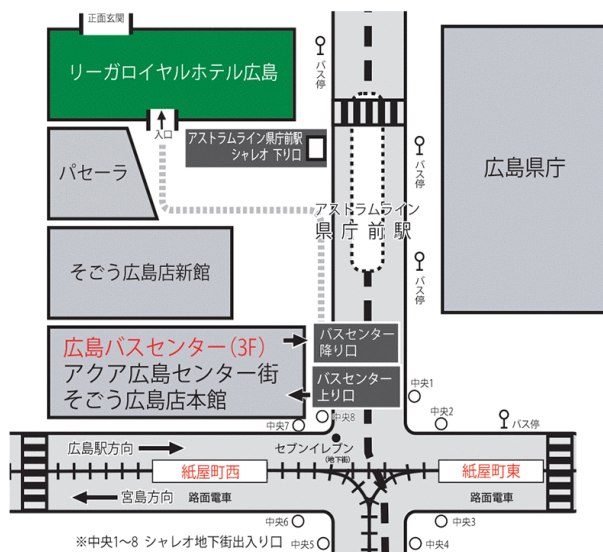
会社名・団体名			
住 所	〒		
連絡先	TEL	FAX	
	E-mail		
参加者	所 属	役 職	氏 名

※ お申込みで記載された個人情報は主催者で適切に管理し、当センターからの各種ご案内に利用させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

なお、当該情報は、個人情報保護法に従って適切に取扱い、法令に定める場合を除き第三者に提供することはありません。

■会場の最寄駅

- ・路面電車「紙屋町西」または「紙屋町東」徒歩3分
- ・バス「広島バスセンター」徒歩すぐ、または「紙屋町」徒歩3分
- ・アストラムライン「県庁前」徒歩すぐ



【お申込方法】

下記お申込み先へ電子メール又はFAXでお申し込みください。

【お申込みに関するお問い合わせ・お申込み先】

広島大学デジタルものづくり教育研究センター

〒739-8514 東広島市鏡山3丁目10番31号 TEL 082-430-8513

FAX : 082-430-8516 E-mail : hudmerc@hiroshima-u.ac.jp



令和元年 5 月 24 日

「2019ゆかたまつり」を開催
「涼風薫る夏の始まり」

「2019ゆかたまつり」を6月30日（日）に開催します。

ゆかたまつりは、今年で24回目を迎え、広島大学の夏の風物詩としてすっかり定着しました。広島大学学生の大学祭実行委員会と、周辺住民の下見学生街ゆかたまつり実行委員会と下見商店会の共催により例年この時期に開催しています。学生のみならず、地域住民の方々をはじめとする多くの方に楽しんでいただける祭りになるように、準備を進めています。

学生企画としては、「ステージ企画」、「屋内外企画」、「ブース出店」及び「模擬店」の4種類を予定しています。今年も、広島大学の学生サークルを中心に特設ステージにての様々な企画や演奏、日頃の活動の発表や展示、パフォーマンス、フリーマーケットなども行う予定です。

また、蒸し暑い日々にヒヤリとする涼しさを求める方には今年も大好評の「おばけ屋敷」を企画しております。

さらに、当日に浴衣で来場されたお客様には模擬店で割引などが受けられる場合があります。是非浴衣を着て足をお運びください。

記

日 時 : 6月30日（日）10:00~20:00

場 所 : 総合科学部周辺
(東広島キャンパス)

テーマ: 涼風薫る夏の始まり

【お問い合わせ先】

教育室教育部
学生生活支援グループ 呉
TEL:082-424-6143 FAX:082-424-6159

令和元年5月24日

第40回広島大学音楽祭フェニックスコンサートを開催します

広島大学音楽協議会主催『フェニックスコンサート』を広島大学東広島キャンパスにおいて開催いたします。

広島大学の音楽サークルが一堂に会する貴重な大演奏会です！

また、音楽文化を幅広く知っていただくことを目的として、学内の学生・教職員はもちろん、地域の方々にもご来場いただけるようなコンサートを目指しています。

入場無料、途中入退出可なので、どなたでもお気軽にお越しください。お待ちしております！

記

日 時：令和元年5月25日（土） 14：00開演
5月26日（日） 13：00開演

場 所：広島大学東広島キャンパス サタケメモリアルホール

内 容：別紙のとおり

【お問い合わせ先】

教育室教育部
学生生活支援グループ 呉
TEL:082-424-6143 FAX:082-424-6159

第40回 広島大学音楽祭 フェニックスコンサート

Phoenix Concert

SING & PLAY VARIOUS MUSIC GENRE

広大音楽系サークルによる大演奏会

**入場
無料**

Admission
Free!



とき Date: May 25th, 26th

2019年 **5月25日(土)**

開場 13:30 開演 14:00

26日(日)

開場 12:30 開演 13:00

場所 広島大学内 サタケメモリアルホール

司会

フェニックス放送
Phoenix Broadcasting Club **PBC**

どなたでもお気軽に
お越しください!

サタケメモリアルホール
■アクセスマップ

※お車で越しの方は、
学内の駐車場(P)を
ご利用下さい。

■お問い合わせ 082-424-6143 広島大学 学生支援グループ
■主催 広島大学 音楽協議会 〒739-8514 東広島市鏡山1丁目7-1
■後援 東広島市 教育委員会

詳しくは、こちらをご覧ください!
Twitter@HirodaiOnkyo



1日目

jazz 研究会 Jazz Club	JAZZ研究会	ロック同好会 Rock Club	ロック同好会	Plaza de Espana (アカペラ)	Plaza de España
-----------------------	----------------	---------------------	---------------	---------------------------	------------------------

2日目 スペシャル企画 合同演奏もあります!

合唱団 Chorus Club 広島大学合唱団	東雲混声合唱団 パストラル Pastorale 広島大学東雲混声合唱団パストラル	ギタークラブ Guitar Club ギタ-クラブ
ギターマンドリン クラブ Guitar & Mandolin Club	邦楽部 Japanese Music Club 邦楽部	室内合奏団 Chamber Orchestra 室内合奏団 Hiroshima Univ. Chamber Orchestra
吹奏楽団 Wind Orchestra 広島大学交響楽団	交響楽団 Orchestra 広島大学交響楽団	ひがしひろしま音楽祭 2019 6月8日(土)・9日(日) 開催! 詳しくは東広島市観光協会ホームページをご覧ください!

令和元年 5 月 24 日

**大学院統合生命科学研究科 水沼准教授に大隅基礎科学創成財団
の酵母コンソーシアムフェローの称号が授与されました**

水沼 正樹 准教授（大学院統合生命科学研究科 生物工学プログラム）の研究課題が、大隅基礎科学創成財団第 2 期研究助成に採択され、同時に、水沼准教授に「酵母コンソーシアムフェロー」の称号が授与されました（授賞式は 2019 年 4 月 19 日（金）、都内で開催されました）。

大隅基礎科学創成財団は、2016 年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大隅 良典 博士が、日本の基礎科学の振興を目指して設立された財団です。今後、水沼准教授は基礎科学としての酵母研究を推進しながら、フェローとしてアウトリーチや企業との連携を広める活動を通し、基礎科学の発展と普及に貢献していきます。

【お問い合わせ先】

大学院統合生命科学研究科

准教授 水沼 正樹

TEL : 082-424-7765

E-mail: mmizu49120@hiroshima-u.ac.jp